

離床センサー「iサポート」を搭載した

一般病室用ベッド SX・AXシリーズ

シーホネンス

シーホネンス（大阪市東成区）は、より安全な療養環境の実現を目指し、一般病室用ベッドSX・AXシリーズを提案している。
SX・AXシリーズは、誤嚥リスクを低減する業界初の電動ヘッドレスト機能により頭頸部の

角度を調節可能な医療用ベッド。適切な頸部前屈姿勢がとれて、食べ物を食道に送り込みやすくなり、誤嚥リスクの低減につながる。また、頭部や上体のポジションが調整しやすく、ベッド上での食事や口腔ケアが行いやすくなるなどの特長を有している。



このSX・AXシリーズに離床センサー「iサポート」を搭載。ベッドに内蔵されたセンサーにより、ベッドを利用して人の起き上がり・離床・徘徊等の状態を検出し、分岐ボックスを介して既存のナースコールに

「iサポート」を搭載したAXシリーズ

知らせる。また、ベッド内蔵型なので機器やコードを設置する必要がなく、コードが足にからまって転倒する心配がない。「iサポート」の特長は次のとおり。

- ▽3つのモードを搭載
 - ①起き上がり：利用者が起き上がったタイミン
 - グで通知する。通常の「起き上がり」モードと「起き上がり 感度弱」モードを搭載。利用者に合わせて設定することで誤報率の減少に繋がる②
 - 離床：利用者がベッドから完全に離床した時に通知する③見守り：利用者がベッドから離床して10分後に通知する④を搭載している。
- ▽高い検知率を実現⑤
「iサポート」は、ベッドのあらゆる使用パターンによる検証を行った結果、起き上がりで91%、離床で99%と高い検知率を実現。シンプルな操作性ながら、より正確な検知判定が可能である。
- ▽夜間でも安心の足元灯（オプショナル）⑥
利用者がベッドから離床しようとする動作を検知して点灯する。足元を照らすので、夜間のトイレの際なども安心である。ベッドに戻ると自動で消灯するので、再設定は不要である。
- ▽シンプルで使いやすい
操作コントローラー⑦
センサーの設定は、操作コントローラーの4つのボタンから1つを選んで押すだけである。体重の入力や利用者がベッドに戻った際の再設定も不要である。誤操作を防止するロック機能も搭載している。